



ラポール

4



- 第7期宮城倫理経営塾 第2講が開講されました！
- 青年委員会主催 第2回講演・交流会が開催されました！
- 第2回MS委員会・MS進行研修会が開催されました！



宮城県倫理法人会 活動理念

- 一、倫理経営を通して活力ある企業を創る
- 一、倫理運動を通して明るく豊かな地域社会を創る
- 一、倫理活動を通して未来を担う新進気鋭の人材を創出する

ご あ い さ つ

「全国に誇れる宮城の宝。宮城倫理経営塾。」

宮城県倫理法人会 副会長 櫻井 忠男



3月17・18日、第7期宮城倫理経営塾、第2講が開催されました。「経営理念」の策定です。佐藤守塾頭を先頭に熱い講師陣と、塾生の真摯なまでの経営談義に今回初めてご指導戴いた本部講師・小林桂子参事も、感心されておられました。

また、小林桂子参事からは希望した塾生全員に対し、二日間に亘り個別に「倫理指導」を受けました。塾生にとっては、倫理フルメニューでの学修宿泊です。

それにしても、この宮城倫理経営塾。先月、佐藤俊明副会長がご自身の体験を含め、その発足時に遡り詳細にこの巻頭「あいさつ」で述べられておりましたとおり宮城県倫理法人会の歴史においても輝かしい足跡を残しています。

その活動は正しく全国に誇れる宮城の宝だと思います。今回の第2講でも、深夜まで経営談義がなされ、時代が大きく変化していること、2015年までにしっかり会社を安定させねばならないこと等々、異業種のそれも各地域でリーダー的存在の経営者ならではの発言に、参加者みんな目を輝かせて未来を語り合っていました。未来を語る。希望を語る。こんな幸せなことはありません。大震災から1年が経過しました。いろいろな困難なこと、複雑なことが確かにあります。それでも明日は必ず来ます。明日に希望を持って生きる。仕事に無上の希望を持つ。自分の体を無限の希望で包む。自分の人生を不断の希望の燈火で燃え立たせる…。正直なところ、普段の生活、普段の何気ない

経営の中でこのような心境になるのは中々難しいものです。でも、この宮城倫理経営塾ではこのような「場」があるのです。

現在の経営状態に涙する場面があります。先代が、親が、どんな想いで経営されてきたか、それを知った時、止めどもなく流れおちる涙。どんなに苦しくても頑張ってきた自分。ふと立ち止まり、そんな自分に感謝して流す涙。自分のネガティブな性格に翻弄され分かっていないのに動きがとれないもどかしさに流す悔し涙、等々。みんな清らかな涙。清涙です。その後からの笑顔。最高です。笑顔が満ち溢れている。「明朗」です。明るく輝く。自分が輝かないで、なんで他人を輝かせることができようか。笑顔でいるとみんな仲良くなります。「愛和」です。そして希望をもって仕事する。実は、苦しいことには変わりありません。でも希望があるから少々の苦労は耐えられます。喜んで働けます。「喜働」です。こうして、日曜日夕方17時県内各地に、(今回は米沢の倫友も参加しています)帰られました。帰った後、また家庭で、職場で、明朗・愛和・喜働の実践を積み重ね、「純情」な心境、なんのこだわりもなく澄み切った心持になるよう伴にみなさん県内各地、夫々の立場で精進していくことでしょう。

このような活動をしている宮城県倫理法人会。最高です。是非、みなさんの周りの方々をお誘いし、今期の目標を達成し、朗らかに生きてまいりましょう。

青年委員会主催 第2回講演・交流会が開催されました！

■日 時：平成24年2月22日（水）講演会 18：00～、交流会 20：00～
 ■会 場：太白区文化センター（3F大会議室）、漁亭 浜や（エスパル店）

去る2月22日水曜日、青年委員会主催による第2回目の講演・交流会は、若手経営者の学びを深める場と会員と未会員との交流の場として、太白区文化センターおよび漁亭浜やに於いて開催されました。

講演会では、ゲストを含め総勢33名ご参加のもと、漁亭浜や 佐藤智明社長を講師にお迎えし「閑上復興の力になりたい」と題して90分に亘る講話は、最初に名取市閑上の大津波被災のDVDを放映し、名取市閑上の自宅と店舗が大津波で流失した当日の体験、避難所生活から苦悩の末に閑上復興の懸け橋となることを強く誓い、仙台市内に2店舗（太白区あすと長町店、仙台駅地下エスパル店）を開店させ再興した感動のお話をいただき、参加者からは拍手喝采の講演会となりました。

講演会終了後には、漁亭浜や エスパル店に会場を移し、講師を囲んでの意見交換会を兼ねた懇親会は、和やかで盛会の交流会となりました。

ご参加いただきました単会青年委員会の皆様、単会の役員、会員の皆様には感謝を申し上げます。

（宮城県倫理法人会 青年委員会）



第2回MS委員会・MS進行研修会が開催されました！

■日 時：平成24年2月23日（木）委員会研修会 15：00～、懇親会 18：10～
 ■会 場：ホテルレオパレス仙台 B1F イベントホール

去る2月23日木曜日、(株)倫理研究所 法人局普及事業部 北海道・東北方面松本副方面長を講師にお迎えし、県からは原田会長、保坂幹事長、沢田副幹事長のご臨席のもと、総勢48名により、第2回MS委員会ならびにMS進行研修会がホテルレオパレス仙台に於いて開催されました。

はじめに、『第2回MS委員会』では、最初に現在進行中の“MS出席率コンテスト”の途中経過を資料をもとにご報告、続いて“100社モーニングセミナーの実施状況”のご報告を行い、最後に、事前にアンケートご依頼していた“MS運営上の課題、問題点”（MS取組状況、困っている事、朝食会取組状況）の集約資料をもとに三塚MS委員長の司会による意見交換会を行い、課題解消に向けた活発な意見が交わされ、最後に、松本副方面長から「経営者モーニングセミナーマニュアル」にもとづく回答と助言があり、改めてモーニングセミナーの意義を再確認するとともに、今後のモーニングセミナー運営の糧をいただきました。

休憩を挟んで開催された『MS進行研修会』は、松本副方面長により、「経営者モーニングセミナーマニュアル」をもとに、セミナーの意義、運営上の留意事項を中心に講義があり、その後、実習に移り、参加者の中から進行者をご指名のうえ、進行者の役割を実演していただき、この実演に対し松本副方面長から良い点、悪い点についてタイムリーにコメントをいただき、有意義な研修となりました。

研修終了後、会場を移して研修会出席者による懇親会が和やかに行われ、無事に一切を終了いたしました。

本日まで出席いただきました皆様には、深く感謝を申し上げます。

（宮城県倫理法人会 MS委員会）



登米市倫理法人会

◆日時 平成24年3月12日(月) ◆場所 若鯨会館

★登米市倫理法人会「交流会開催」

3月12日(月)若鯨会館で登米市倫理法人会と群馬県渋川市倫理法人会の交流会が行われました。

交流会に先立ち倫理経営インストラクターの伊藤俊郎登米市倫理法人会相談役から講話をしていただきました。「店の繁栄の条件」として「事前対策」他10項目について、自身の歩んできた歴史とご先祖様への思いを加えてお話しいただきました。盛り沢山な内容で、1時間の講話では時間が足りなく感じました。

講話後、交流・懇親会に入り登米市小泉洋会長と渋川市小松勝三会長の挨拶。更に翌日のモーニングセミナー講師の宮城県倫理法人会原田善征会長にもご挨拶いただきました。

懇親会で交流が深まる中、渋川倫理法人会とともに来訪いただいた、群馬県内の高崎・前橋・安中・吾妻・太田・前橋しきしまの各単会の方々にもスピーチをいただき大変盛り多い交流会となりました。(参加者 群馬県より16名・登米市29名)

今回を良い機会に親睦を更に深めていき情報交換をすすめていくことで意見が一致し今後が楽しみな交流会になりました。

翌朝のモーニングセミナーでは群馬県のメンバーも加わり大勢の参加者の中、登米市のメンバーもやや緊張気味な様子でしたが、原田善征宮城県会長の講話に聞き入っていました。

(登米市倫理法人会 広報副委員長 二階堂敏雄)



渋川・小松会長挨拶

全員で記念写真

秘伝? 缶でご飯と味噌汁を作る

仙台はせくら倫理法人会

◆日時 平成24年3月5日(月) 午後5時30分～ ◆場所 KKRホテル仙台

★仙台はせくら倫理経営講演会

3月5日(月)に平成24年度の仙台はせくら倫理法人会の倫理経営講演会が開催されました。当日は午前中の大雪が午後から雨に変わり、足元が非常に悪く、KKRホテル仙台・蔵王の間にゲスト44名を含む140名と言う大勢のお客さんが来て頂きました。

千葉県からお越し頂きました長橋護法人スーパーバイザーによる「易不易」をテーマにした倫理経営を成功させるポイントとしての「変えていかなければならないものと変えてはいけないもの」についての講演を頂き、特にタイムカプセルから出てきた、亡き母の我が子への手紙の朗読の部分では感動のあまり、すすり泣く声が会場より聞こえてきました。

事業体験講師として同じく千葉県からお越し頂きました清水会計事務所 所長税理士 清水浩旦様による「0(ゼロ)の上に立つ」と題した、ゼロからの再出発と言う内容で失敗してもあきらめず立ち上がろうとする人々を勇気づけるような講和を頂きました。

講演会後の懇親会では会員とゲストの「交流会」と題して開催し、着席での飲食の提供と出席者をはせくら法人会の会員に絞る事で会員とゲストの名刺交換による人脈作りと情報交換が出来るような場として提供する事が出来ました。その結果出席者数51名中、ゲスト出席者が26名と半分以上が未会員の方と言う新鮮な雰囲気の中、活気のある交流会を開催する事が出来ました。

(仙台はせくら倫理経営講演会 実行委員会)



仙台広瀬倫理法人会

◆日時 平成24年2月17日(金) ◆場所 エル・パーク仙台5階セミナーホール

★仙台広瀬 倫理経営講演会

平成24年2月17日(金) 18:30～20:30 エル・パーク仙台5階セミナーホールに於いて、倫理経営講演会を開催しました。神奈川県倫理法人会相談役の小松俊一様よりテーマ「純粋倫理の流れに乗って」と題しまして事業体験を発表いただきました。倫理に入会してもなかなか良さが感じられなかったが、病気を経て、会社の儲けより家庭の方が大切で、家庭が良くなれば会社も儲かるようになる事がわかったというお話でした。

そして、山口県倫理法人会相談役藤麻一三様をお迎えし、テーマ「易不易」と題しましてご講演をいただきました。あらゆるものには、変わる面と変わらない面があり、変えて良い物は変える、変えてダメなものの変えない。会社で言うならば、変えてならないものは正しい商道、経営理念、創業の精神、喜働などであり、変えなければならないのは、時代に即した商売の方法、営業方法、店作りなどであり、易が行われないと企業は衰退していく。また、同じ

事を一日一回はやりましょうと「反復」の大切さを教えていただきました。100回続けると習慣化、1000回続けると習熟化、10000回続けると達人化。そして、倫理を学んで変わらない人は、知識だけを頭に入れて実践をしない人、自分はやらなくて社員にやらせる人(倫理は自分に使うもので、人に使うものではない)、続かない人。だそうです。

最後に倫理のいろはABCを教えてくださいました。「A当たり前のことをBバカになってCちゃんとやる」

会場には多くのゲストの姿も見られました。米田実行委員長をはじめメンバーが一丸となって開催した講演会その後の懇親会も含め成功裏に終了しました。



(仙台広瀬倫理法人会 広報委員長 三浦 良)

仙台中央倫理法人会

◆日時 平成24年2月16日(木) ◆場所 KKRホテル仙台

200人モーニングセミナー

★深く心に響いたホスピタルクラウン大棟耕介さんのお話



仙台中央倫理法人会では去る2月16日(木)にホスピタルクラウンの大棟耕介氏(名古屋在住)を講師に迎え、「今を大切に」と題した200人モーニングセミナーを行いました。

ホスピタルクラウンとは病院などで心のケアをする道化師のことで、大棟さんは特に闘病中の子ども達に喜びと笑いを届ける活動をしていらっしゃいますが、私たちが通常サーカスでピエロと呼んでいる道化師は本当はクラウンと言うそうです。そしてクラウンはお客様の様子を隅々まで把握し演目の隙間を見事に埋める名脇役のため、サーカスの中では一番の高給取りでステータスも高いそうです。

当日はパフォーマンスを交え、時に会場を笑わせながら、病気の子どもの達と向き合うときの思いや、プロとして気をつけている事、コミュニケーションについてなど、深みのある充実したお話を伺うことができました。一般の方や学生さんなど大勢の方にお越しいただき大いに活気づいたモーニングセミナーは、皆様からたくさんのご好評をいただき盛会のうちに終了いたしました。

(仙台中央倫理法人会 広報委員長 笹崎久美子)

仙台太白倫理法人会

◆日時 平成24年2月27日(月) ◆場所 茂庭荘

★仙台太白倫理経営講演会

平成24年2月27日(月曜日) 復興元年の今年、企業にとっても一層厳しい時代に直面する中、仙台太白倫理法人会倫理経営講演会が開催され、参加者は、心新たに明日への力を得る事が出来ました。

講演に、社団法人倫理研究所 法人局 参事 法人アドバイザーの盛田良次氏・事業体験報告に、千葉県倫理法人会 後継者倫理塾 塾頭/株式会社スイコー 代表取締役の小溝剛氏の両氏を迎え、17:30から講演が開催されました。

まず始めに、小溝氏の事業体験報告では、「人生すごろく 夫婦で再挑戦」をテーマに講演がひらかれ、最も印象を受けたのが、九死に一生を得た話し。事業運営上の手形不渡で破綻寸前に追込まれたことがあり、一時は自殺まで考えた小溝氏を救ったのは、奥様と御子息の支えだった。そんな救いの神とも呼ぶ奥様方の支えをきっかけに、もう一度、事業に再挑戦。その想いが通じたのか、これまで多くの企業が手形による取引だったのが、小溝氏の想いに打たれ現金で取引をしてくれることに。まさに、どの目が出るか分からない「すごろく」の如く、諦めない意志と、家族の支えが今の会社を創っている。

一方、法人局参事の盛田良次法人アドバイザーは、「易不易」をテーマに、「易」とは変わる・変えること、「不易」は変わらない・変えない事をの意味を強く語られ、この二つの相反する相が統合され、バランスが保たれていくことを強調されました。経営の「経」は創業精神・経営理念で「不易」。「営」は経営方針でお客様の要望に応じて積極的に変えてゆくことであり、これを実践行動することが大切なのだと痛感しました。

両者ともに、倫理で学んだ実践が活かされた、大変貴重な講演をいただきました。講演後、講師の二人を囲んで和やかなパーティーがひらかれ、参加した人たちは、明日の復興・会社の発展に向けて、決意を新たにしていました。最後に、小溝氏・盛田氏の今後益々のご発展・ご健勝を願いつつ、講演にご参加いただいた皆様に心より御礼申し上げます。

(仙台太白倫理法人会 広報委員長 五十嵐 敏信)



★平成24年度 第3回『経営者の集い』開催！



▼出席者全員で講師を囲んで記念撮影



▲静かに説法を続ける馬場知行住職

「お寺の山門にある金剛力士像をご覧になったことがありますか。向かって左手に立つのが阿形で、右に立つのが吽形です。阿形の阿は、アイウエオの『ア』を指し、事の始まりという意味です。吽形の吽は『ん』という字で、事の終わりを指しています。つまり、あの金剛力士像は人が『おぎゃー』息を吐いて生まれ、『ん』と息を吸って亡くなるという意味もこめられています。人の一生は、金剛力士像が立つ4、5メートルの距離にすぎません・・・」と語るのは講師の馬場知行住職です。今日は久々に住職より説法を聞き、身も心も洗われたようでした。

(仙台太白倫理法人会 広報委員会)

◆日時 平成24年3月12日 午後6時から ◆場所 ホテルふじや
◆講師 (社)倫理研究所 法人レクチャラー 埼玉県倫理法人会県央地区長 實持寺 住職 馬場知行氏
◆テーマ 倫理との出会い

仙台若林倫理法人会

2月9日に行われた講演会が、
週刊ホテルレストラン 2012年3月2日号 掲載
(株)オータパブリケーションズ発行

に掲載されました。

皆様、誠にありがとうございました。

仙台若林倫理法人会 事務長 勝又久美子

レポート 仙台若林倫理法人会 新春特別講演会

『めざすは業界ナンバーワン！ 発想の転換が「接客」を変える!!』

仙台若林倫理法人会(畑中健作会長)は2月9日(休)仙台市民会館小ホールにて東北ホテル宴会場支配人協議会(以下東北B.M.C.)会長、クアハウス基点総支配人代理、鈴木忠美事務所代表である鈴木忠美氏を招いて新春特別講演会を開催した。当日は、サービス従事者を中心に倫理法人会会員およそ200名が集まり大盛況であった。

取材・文 本誌 山本 重男

小雪の舞うあいにくの天気ながら、講演会会場である仙台市民会館小ホールは熱気に包まれていた。

講演を行なう鈴木忠美氏は、1969年以來43年間にわたりホテルビジネスに従事、さらに5期10年にわたり東北B.M.C.会長を務めている。これまでの自身の経験と実績に裏打ちされた独自の哲学と指導方法による講演や教育研修は、全国各地から依頼が相次ぐ人気ぶりだ。

開演に先立ち神坂亮仙台若林倫理法人会専任幹事は、「鈴木先生のお話は、ホテル業だけではなく全業種に従事する人にとって参考になる。教えを持ち帰って今日からすぐに実践してほしい」とあいさつした。続いて畑中健作仙台若林倫理法人会会長は、「自分が変わろうと勉強することが大切。自分が変わり、会社を変え、地域を変えていこう」と述べた。

大きな拍手で迎えられて登壇した鈴木氏はゆっくりと聴衆に語りかけた「辰年は過去の習慣を絶つ、新しいことをたち興す年。まっさらな気持ちで聞いてほしい」。さらに、「商品の良さだけではお客さまに選ばれ、ナンバーワンになることはできない。商品価値は既存のサービスにどれだけの付加価値をつけられるかによって決まるのです」と続けた。

今回の公演では、先に出版された大きな反響を集めた書籍の内容をもとに、書籍では触れられていない具体的事例や、後日談なども盛り込まれ、集まった聴衆を引き付けていた。

「今は損して得取れの時代ではない。得を与えて得を取れの時代だ」「お客さまの評価は全社員の総合点」「社員が感動しないことはお客さまも感動しない」「見てあげることは最高の教育。見られることは最大の学習」

など、自身の経験に裏打ちされた言葉の数々はどれも説得力のあるものばかり。鈴木氏の

言葉に熱心に耳を傾けるとともに、その教えを一字一句逃すまいと盛んにメモを取る多くの参加者の姿が印象的であった。



講演に先立ち挨拶する畑中健作仙台若林倫理法人会会長

途中、突然の音響トラブルの際も自らマイクの交換に向くなど、鈴木氏の人柄を象徴する場面に会場は終始あたたかな雰囲気にも包まれていた。

鈴木氏は「学んだことのたった一つの証しは変わること」という言葉で講演の最後を締めくくり会場は大きな拍手に包まれた。

終演後は、書籍販売コーナーに多くの参加者が集まり、著書を手にとっていった。

多くの講演依頼が寄せられ、全国を飛び回る鈴木氏であるが、どんな講演依頼も喜んで引き受けるという。鈴木氏の言葉によって多くのサービスマンに気づきと、成長がもたらされることを願って止まない。



鈴木忠美氏プロフィール
1969年盛岡グランドホテル入社。レストラン課長、料飲企画部長、副総支配人を経て96年経営変更に伴い(98年同取締役)。在職中には専門学校福岡カレッジオブビジネスで講師を務める。2003年東北ホテル宴会場支配人協議会(東北B.M.C.)会長就任(現在5期10年目)。05年ホテルシティプラザ北上入社。同取締役サービス部長兼支配人。現在は山形県東村山町クアハウス本店にて勤務しながら、経営研修会長の資質向上を目標とし、教育研修会の企画・運営を行なう。

対話をするようにゆっくりと、それによって力強く聴衆に語りかける東北B.M.C.会長鈴木忠美氏

書籍紹介
毎月9ヶ月で東北・北海道エリアでホテル・サービスNo.1に輝いた秘訣
接客は固定観念を捨ててこそ生きてくる
鈴木忠美 著 (B6 254ページ 1260円税別)

- 常識を破り発想を鍛えた「接客」とは
- 今日からすぐ実践できる具体例を多数掲載
- あらゆる職種・業種に役立つノウハウの理、発想方法とは
- 人材育成、組織の活性化の秘訣とは
- 顧客満足度の高いサービスを提供するためには
- 雇入社員(学生舎)から経営者まで役立つ内容満載

仙台宮城野倫理法人会

仙台 第
宮城野 **619** MS
モーニングセミナー
ホテルオパレス仙台 1月27日
「いのちを守る森の防潮堤」
宗教法人金剛宝山 輪王寺住職
日置道隆様

2012.2.24 MS



東日本大震災後、宮脇昭氏の提案する「土地本来の木々が多層群落を形成する本物の森が、津波から私たちの命と財産を守る防潮林堤」に賛同「いのちを守る森づくり～東日本大震災復興～」映像を制作。その作品がスティー



ヴィ国際賞優秀賞等を受賞。

平成23年7月に「いのちを守る森の防潮堤」推進東北協議会を発足し会長に就任。

国策の松による防潮林は潮風に強い樹木である筈だった。しかし今回の震災でなぎ倒され結果とし

て人々と家を襲った。松は比較的浅く横広がり根が張る。いっぽう多様な木々が集まり自然にできた自然の森。タブなど直根性が強く垂直に深く伸びる大木の周囲に多様な木々が多層構造で森を構成する。震災後の調査でも流されることが殆んどなく残っていた。自然にできた本来の森は丸い形状をなし、外からの力にも強いエネルギーを有しビクともしなかった。

発生したガレキを埋め、常緑広葉樹で深根直根形の森づくりの長城計画を強く説く。生物の特徴を活かした、しなやかで強靱な永久的な循環型森づくりこそ今この時代の転換期に必要と力説した。

発生したガレキを埋め、常緑広葉樹で深根直根形の森づくりの長城計画を強く説く。生物の特徴を活かした、しなやかで強靱な永久的な循環型森づくりこそ今この時代の転換期に必要と力説した。

★会員スピーチ 2月10日

「あるべき姿に学ぶ」

沢田秀二様



震災後1年を迎えるにつけ、思い出す事例がある。震災翌日の3月12日、利府町にあるパン屋のP

店のこと。「電気も止まり、せっかく作ったパンですが美味しいまま保存するすべも失いました。どうぞご自由に袋に詰めてお持ちください」との貼り紙。

一方とあるコンビニ店、震災10ヶ月過ぎようとするこの正月まで「当時、煙草を定価以上で販売してしまいました。返金させていただきますので、お申し出ください」とお詫びのポスターが。

日々の業務において臨機応変な対応を心がけ、お客さまや地域の



普及拡大決起・新年会
2012.1.25 Hレオパレス

人たちの信頼関係を築きあげてゆくことの大切さを改めて肝に銘じた。

★仙台宮城野の普及拡大決起大会・新年会開催！

—決意もあらたに—

去る1月25日、仙台宮城野倫理法人会平成24年度新年会が、ホテルオパレス仙台を会場に開かれた。前半は普及拡大に向けた各班ごとの目標必達プレッジ。決意発表の声が会場せましと高々と響き熱気にあふれた。

後半は和野会長が普及への熱意を訴えながらも「楽しむときはトコトン楽しもう！」と年頭挨拶。余興の部は菅原副事務長と仲間たちの勇壮な太鼓や、緑起ものの獅子舞などを披露され割れんばかりの拍手をさそった。



(仙台宮城野倫理法人会 広報委員 櫻井光雄 ラポール201204)

大崎倫理法人会

★「新年会& 3回目の成人式(還暦祝い)」 「移動モーニングセミナー」開催

◆日時 平成24年1月23日(月)、24日(火)
◆場所 鳴子観光ホテル



1月23日役員会と幹部研修終了後、日ごろの疲れた体を名湯で癒し、新年会&3回目の成人式が開催されました。菅野会長挨拶、昨年3回目の成人三浦相談役の乾杯発声で和やかに会が始まりました。リフレッシュかむろの宇和野文昭さん、佐々源の佐々木康彦さん赤いちゃんちゃんこでもお似合いました。

24日は会議室にて前日よりお出で頂いた(株)倫理研究所スーパーバイザー金子袈裟己様が講師による移動モーニングセミナーが行われました。両日はとても内容の深い2日間になりました。



★「平成24年度第2回経営者の集い」開催

◆日時 平成24年2月20日(月)18:30～19:30
◆場所 芙蓉閣2Fビクトリア

講師に花巻倫理法人会会長 金澤秀晃様をお迎えし、テーマ“父の倒産・打つ手は無限”でお話を頂きました。

金澤会長の何事にも前向きな性格は小さいころの多岐に渡る苦難を乗り越えてきた賜物だと思われました。友人の誘いで入会した倫理法人会で更に人としての成長され、人間力の大きさに魅せられた講演でした。



「第7期 宮城経営塾」第1講キックオフ!!

◆日時 平成24年2月18日(土)、19日(日)
◆場所 芙蓉閣2Fビクトリア

大崎倫理法人会より

(株)中島設備工業 高橋新市さん
(株)斎林酒問屋 斎藤寿俊さん
(株)国本 引地 元さん
(有)三塚タイヤ 三塚敏則さん

の4名が入塾しました。7月の第6講、卒塾式までの6月間長く厳しい道のりと感じることもあるでしょうが、塾頭初め志熱き講師陣の方々、そして卒塾生の力添えで自社の魂と自分の力と成る経営理念の策定に邁進してください。3/17,18 4/21,22 5/19,20 6/16,17 7/8,9の日程で行われる経営塾に是非会場に足をお運びいただき卒業生の方々や次回入塾を予定しているの方々皆様からの激励の言葉、応援をお待ちしております。

4月のモーニングセミナー予定表

月	火			水			
2	3	講師	テーマ	法人会	講師	テーマ	法人会
		佐藤秀彦様	仙台セくらぬ理法人会 幹事 「苦難の時、幸福の葉」	仙 南	保坂浩一様	宮城県理法人会 幹事長 副保坂 代表取締役 「保坂式 生成発展論」	石 巻 市
		五十嵐深美様	仙台太白理法人会 副会長 廣アソトロメダ社 「広告代理店 40年駆け抜けて」	登 米 市	原田善征様	宮城県理法人会 会長 「企業繁栄の秘訣」	多賀 城市
		沢田秀二様	仙台宮城野理法人会 専任幹事 「ハイ! の実践」	大 崎	沢田元一郎様	宮城県理法人会 副幹事長 仙台養徳理法人会 副会長 「どうせやるなら心の経営」	気仙沼市
		畑中研志様	代々木アニメーション学院 仙台校 校長 「好感のもてるコミュニケーション術」	仙 台 太 白	松谷行高様	仙台商業倫理法人会 会長 南つきも 代表取締役 「経営のテーマ」	仙 台 泉
		伊藤長作様	宮城 経営建設関係 仙台 経営 関係コンサルタント 代表取締役 「経営者の危機管理」	仙 台 青 葉			仙 台 若 林
	深沢ひとみ様	ブルデシナル生命保険株式会社 「タイ-シティ&インクルージョン 進にチャンス!!」	仙 台 広 瀬	中山聖子様	NPO 法人 HeartBes	さ くら	
9	10	講師	テーマ	法人会	講師	テーマ	法人会
		石黒文夫様	仙南理法人会 相談役	仙 南	大橋清勝様	宮城県中央商業研究会 石巻支部長 福がんがら花道 代表取締役 「よい会社を目指して」	石 巻 市
		会員スピーチ		登 米 市	DVD 研修	万人幸福の葉解説 第4巻 「人は鏡、万象はわが師」	多賀 城市
		DVD 研修	万人幸福の葉 解説③ 7 肉体は精神の象徴、病気は生活の赤信号～知病信号～	大 崎	荒木良仁様	岩手県研究 北巻 代表理事 「東日本大震災で得られたこと」	気仙沼市
		大橋俊作様	岩手県研究 法人アドバイザー 「倫理経営とは何か。商売繁盛の秘訣」	仙 台 太 白	水上 宏様	岩手県研究 名誉研究員 「終わりをければすべてよし」	仙 台 泉
		佐藤さきみ子様	産業カウンセラー 「コミュニケーションを難しく考えていませんか」	仙 台 青 葉	加藤義一様	卸-ビルドアップ(株)代表取締役 大蔵理法人会 専任幹事 「倫理は実践(ここ)がおもしろい!!」	仙 台 若 林
桑山紀彦様	NPO 法人 地域のステーション代表理事 「東ティモール、パレスチナにおける交流活動について」	仙 台 広 瀬	佐藤智明様	仙南理法人会 会長 「東日本大震災「決断」」	さ くら		
16	17	講師	テーマ	法人会	講師	テーマ	法人会
		久保田實様	瀬久保田地所	仙 南	荒木良仁様	岩手県研究 北巻 代表理事 「実践力を高めよう」	石 巻 市
		三田 望様	岩手県研究 法人アドバイザー 三田 聯合会 「大震災を乗り越えて」	登 米 市	みやぎたいき様		多賀 城市
		松本光司様	岩手県研究 北巻 代表取締役 「恩意識を深める」	大 崎			気仙沼市
		鈴木忠美様	秋本忠実人物育成事務所 代表 「めざすは業界 NO.1 発想の転換が経営を変える」	仙 台 太 白	柴田義喜様	仙台中央理法人会 専任幹事 エーネット 代表取締役 「机を拭くから副事務長」	仙 台 泉
		大村秀明様	岩手県研究 法人アドバイザー 岩手県理法人会 会長 代表取締役 北巻商業理法人会 相談役 「事業経営は家庭から」	仙 台 青 葉	三田 望様	岩手県研究 法人アドバイザー 「大震災の残した物 ~ 苦難福門」	仙 台 若 林
藤本定明様	岩手県研究 法人アドバイザー 「白いカラスと隣の女房」	仙 台 広 瀬	荒井久満様	岩手県研究 法人アドバイザー 「実践の順番」	さ くら		
23	24	講師	テーマ	法人会	講師	テーマ	法人会
		会員スピーチ	「企業体験発表」	仙 南	河合堯昭様	岩手県 代表取締役 「我々はどこに行きたいのか」	石 巻 市
		別府一男様	岩手県研究 法人アドバイザー 岩手県理法人会 会長 岩手県東北支部 「倫理は震災も乗り越える」	登 米 市	藤本定明様	岩手県研究 法人アドバイザー	多賀 城市
		青木信博様	宮城県理法人会 相談役 「得るは捨つるにあり」	大 崎			気仙沼市
		原田善征様	宮城県理法人会 会長 「企業繁栄の秘訣」	仙 台 太 白	川崎葉子様	岩手県研究 法人アドバイザー 「風を起こす」	仙 台 泉
		高橋さくゑ様	仙台商業理法人会 会長 南原心斎堂 取締役社長 「倫理と私の人生(苦難は幸福の門) 〜心豊か(笑) 笑顔のあはれと倫理法人会の倫理(笑)を再考〜」	仙 台 青 葉	阿部ふみか様	カラーアップハート FLAX 公開カウンセラーリスト 「色と笑顔で、魅力UP☆」	仙 台 若 林
元木良樹様	仙台中央理法人会 幹事 卸-ビルドアップ(株) 代表取締役 「さあこれから、いまから」	仙 台 広 瀬	齋 清志様	さくら理法人会 相談役 「人口減少社会におけるこれからのまちづくり」	さ くら		
30							

再開します オフィスに倫理を!

この度、宮城県倫理法人会では普及活動の一環として、倫理法人会の活動方針を取り入れた、会員章プレートの頒布を再開致します。

このプレートをおフィスに掲示するだけで、お客様・お取引先に倫理法人会をアピールし、社員に対しては倫理法人会の意義をわかりやすく伝えることができます。

倫理経営を目指す会員の皆様のお申し込みをお待ちしています。



壁に掛けられる
チェーン付!

立て掛けられる
スタンド付!

頒布価格 **2,100円** (税込)

寸法: 163×113mm、厚さ6mm
材質: 白アクリル+透明アクリル貼り合わせ
色: アクアブルー

申込用紙(コピーしてお使い下さい)

FAX:022-222-1527

会社名

氏名

電話

FAX

単会名

倫理法人会

注文枚数

枚

お問い合わせ

宮城県倫理法人会事務局

〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-14 HANIX IIビル 6F
TEL:022-222-7910 FAX:022-222-1527

企業に倫理を 職場に心を 家庭に愛を

■倫理法人会とは…

現代は、一時的な不況対策というような姑息な手段や小手先だけの経営術で生き残る時代ではありません。企業を真に活性化するのは、経営に当たるトップの姿勢、つまり心次第です。倫理研究所の提唱する純粋倫理を企業に導入することによって、真の経営理念を確立していただき、職場に明朗・愛和・喜働の精神を満ちし、職場を意欲に燃えたヤル気集団・実践集団にして、企業の繁栄に寄与することを目指すのが法人会制度です。

■各種の活動

- モーニングセミナー
- 経営者の集い
- 倫理経営講演会